

国際交流基金助成事業報告書

薬学研究科 薬学専攻
博士課程 4 年次生
安藤 憲太

1. はじめに

この度、国際交流基金の助成を受け、6 月 25 日から 27 日の 3 日間に大韓民国 (ソウル) で開催された The 4th Korea-Japan Young Scientists Workshop on Pharmaceutics (2025 KJYSP) へ参加し、自身の研究成果を発表したので報告する。

2. 学会について

The 4th Korea-Japan Young Scientists Workshop on Pharmaceutics は、2016 年から開催されている韓国と日本の若手研究者の交流及び学術ネットワークの構築を目的として設立された KJYSP の第 4 回目である。本ワークショップは、ソウルの江南 (カンナム) 地区にあるリバーサイドホテルで薬物代謝や薬物動態、DDS、製剤・製薬技術をテーマとして大学教員や学生の講演や口頭発表、ポスター発表が行われた。



写真 1: 学会会場にて

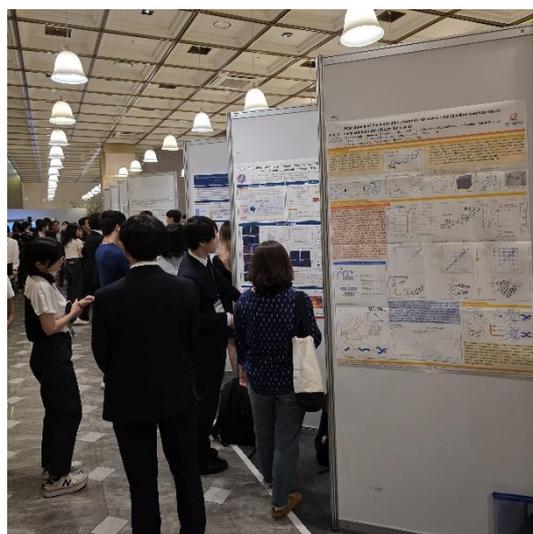


写真 2: ポスターセッションの様子

3. 学会の様子

発表会場では、講演・口頭発表とポスター発表でスペースが分かれており、私は "Elucidation of the molecular assembly structure and gelation mechanism of monoammonium glycyrrhizic acid" という演題でポスター発表を行った。英語での発表・質疑応答は初めてであり予め準備をして臨んだが、質疑応答では上手に回答できない場面が多くあった。発表だけでなく他者のポスター発表を拝聴した際、質問内容を伝えるため簡単な英単語だけでなくジェスチャーや図を示すことを利用して伝えようとしたが、十分に伝えきることができなかつたため、改めて自身の語学力が不足していることを痛

感じた。一方で、他大学の参加者はポスター発表で円滑に発表・質疑応答を行っており、中にはより深い議論を行っている学生もいた。この経験はとても有意義であり、研究及び語学学習に関してもより一層励みたいと感じた。

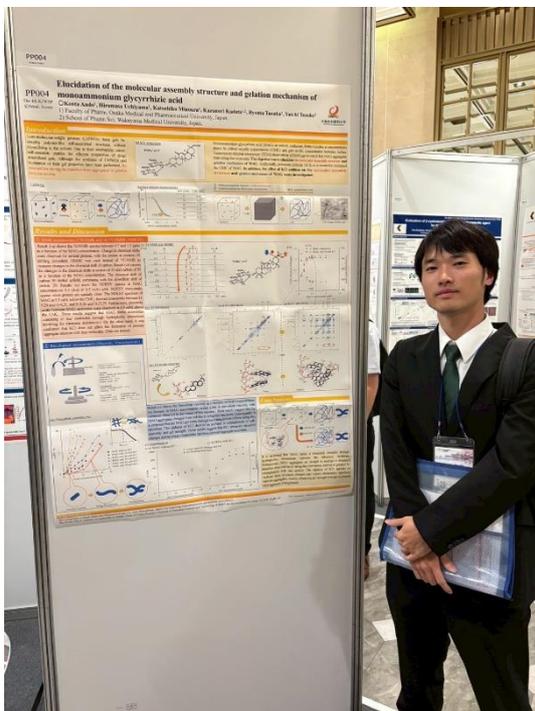


写真 3: 発表ポスター前にて

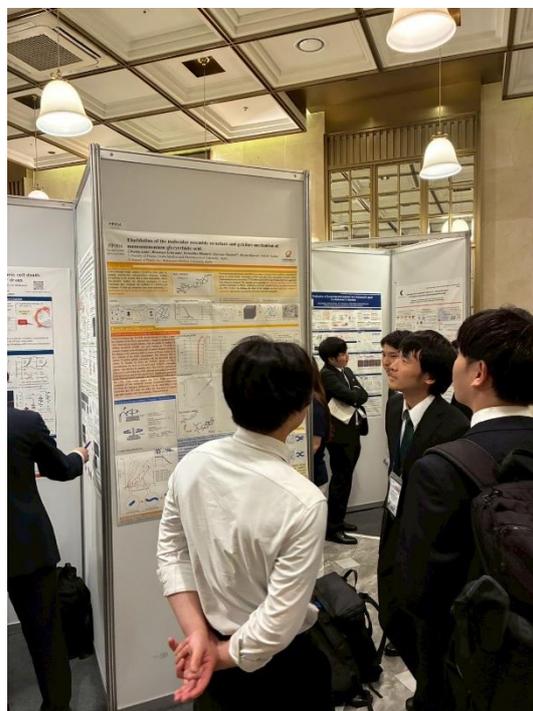


写真 4: ポスター発表の様子

4. 韓国について

学会の空き時間を利用し、景福宮 (キョンボックン) を訪れた。景福宮とは、朝鮮王朝時代に建てられた王宮の中で最も大きい宮殿で 1395 年に創建された。パワースポットとしても有名であり、訪問当日は多くの観光客が訪れていた。

異文化の料理を口にしたかったため、参鶏湯 (サムゲタン) という韓国料理をいただいた。参鶏湯とは、丸鶏の中にもち米や高麗人参、生姜、なつめなどを詰めて煮込んだ薬膳料理で、厳しい夏の暑さを乗り切るために食べる習慣があるといわれている。テーブルに置かれている塩、コショウ等で味を調え、キムチなどを混ぜていただくもので、口にすると体が芯から温まり、疲労が回復した。



写真 5: 景福宮にて



写真 6: 参鶏湯

5. 最後に

この度、国際交流基金助成事業の助成金により、The 4th Korea-Japan Young Scientists Workshop on Pharmaceutics に参加させていただくことができ、自身の研究に関連する知見を深めるとともに、国際学会で発表するという貴重な経験を得ることができた。今回の発表を通じて、自身の研究内容や考えを英語で伝えることの難しさや自身の英語能力の低さを再認識した。また、異文化として韓国の文化に触れることができ、両国の異なる良さを実感した。これらの経験を活かし、研究活動だけでなく、課題である語学学習にも励んでいきたい。

最後に、このような機会を与えてくださった、戸塚裕一教授およびご支援いただいた多くの方々に、心からの感謝の意を表し、報告とさせていただきます。